

会議録

会議の名称	第2回 西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会
開催日時	令和4年10月24日（月曜日）午後3時から5時まで
開催場所	田無第二庁舎5階会議室
出席者	委員：飯島享委員 小野寺崇会長 木崎英司委員 桐木美里委員 指田泰弘委員 平松沙彩委員 松川紀代美委員 村山浩宜委員 事務局：下田立人生活文化スポーツ部長 後藤幸男産業振興課長 山田公一産業振興課長補佐 遠藤集徳産業振興課主事 コンサルタント：梵まちづくり研究所 吉田道郎 黒丸結奈 栗原唯香
議題	計画策定に向けた調査について ①後期計画の着手状況について ②西東京市の産業を取り巻く動向 ③人口推計結果について ④事業者アンケート調査 ⑤ヒアリング調査 ⑥消費者アンケート調査
会議資料の名称	次第 第1回西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会 会議録（案） 資料1 産業振興マスタープラン後期計画の実行プログラム年次計画及び着手状況について 資料2 西東京市の産業を取り巻く動向について 資料3 令和4年度人口推計結果の概要について 資料4 事業者アンケート調査（案） 資料5 ヒアリング調査の実施概要（案） 資料6 消費者アンケート調査（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 開会</p> <p>○会長： 定足数に達しているため、第2回西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会を開会する。</p> <p style="padding-left: 40px;">《傍聴者確認 傍聴者1名の出席を許可》</p> <p>2 第1回会議録（案）の承認</p> <p style="padding-left: 40px;">《第1回会議録（案）を承認》</p> <p>3 議題</p> <p>計画策定に向けた調査について</p> <p>①後期計画の着手状況について</p> <p>○事務局： 《資料1に沿って説明》</p>	

○会長：
ただ今の説明内容について、質問を求める。

《質問なし》

②西東京市の産業を取り巻く動向

○事務局：
《資料2に沿って説明》

○会長：
ただ今の説明内容について、質問を求める。

《質問なし》

③人口推計結果について

○事務局：
《資料3に沿って説明》

○会長：
ただ今の説明内容について、質問を求める。

《質問なし》

④事業者アンケート調査

○事務局：
《資料4に沿って説明》

○会長：
ただ今の説明内容について、各委員の意見を順番に求める。

○委員：
設問が多く、回答者が最後まで行き着くか疑問である。アンケートで全てを把握することは難しく、通常は行いたい施策について設問を絞って意見を聞く。市で進めたいことについて掘り下げてカットできるところは省き、メリハリをつけるべきである。

○事務局：
アンケートを実施するにあたり、事業者の抱える課題や今後の方針などについて把握する必要があると考えた結果、設問が多くなってしまった。不要と思う設問があれば指摘してほしい。

○委員：
アンケートとヒアリングで重複する設問があるのであれば、そこで調整しても良いの

ではないか。資料2にあるような国・都の動向が今後の自治体支援等につながっていくため、アンケートに盛り込めるものは追加して具現性のあるものにしてほしい。

DXは今後10年の目玉となるものであるが、アンケートにはDX関連の設問がない。電子マネー等の決済方法や購入媒体の変化のほか、配信サービスについて聞いてもおもしろいだろう。

市は西東京市ブランドなどに力を入れている。地域資源や企業、商店街などが連携できると良い。

○事務局：

前回の計画策定時はヒアリング重視であったが、今回はマス調査であるため設問が多岐に渡っており、再度整理したい。決済方法はこの後に説明する消費者アンケートにも盛り込める。キャッシュレス決済ポイント還元や応援カードなどのデジタル事業は、高齢者からも紙より1円単位で使え、持ち運びや管理も楽という声をいただいている。今後も進めていく必要がある施策である。

○委員：

前回の委員会でアンケートを紙とWebの両方で実施することは難しいという話であったが、やはりアンケートは紙メインで実施するのか。若い世代にとってはWebの方が回答しやすい。

3ページからの設問内の市の施策について、どれだけの事業者が知っているのか疑問である。

○事務局：

問6は行政計画の評価をしてもらうねらいがあるが、このような設問は答える側にとっては負担であり、「わからない」という回答も多いため、省略する可能性もある。質問数が減ると、Webアンケートの設計もしやすくなる。

○委員：

設問が多いと、忙しい経営者には回答が手間ではないか。アンケートを紙のみで実施するかどうかにも気になる。

○委員：

キャッシュレス決済の促進や応援カードなどのデジタル事業は今後も進んでいくので、好評と聞いて安心した。小規模事業者は高齢者が多く、新しいことについて行きにくい傾向があるので、そのような事業者がどの程度活用されているのか知りたい。

後継者不足は厳しい状況にあり、個人事業の引き継ぎは難しい。アンケートで、廃業するまでの期間や引退予定の年齢を聞いたら役に立つのではないか。

○事務局：

事業承継やデジタル事業に関する設問を増やすことを検討する。

○委員：

回答者の属性の中で、売上規模を聞いても良いのではないか。

事業承継、人材確保、コロナの影響は盛り上がりそうな話題であり、設問項目はある程度話題性のあるものに絞っても良いのではないか。

観光に関する設問はイメージしにくいいため、内容を変えたり項目を増やしたりしては

どうか。

○事務局：

資本金より年商を聞くべきか。年商の選択肢をどれくらい細かくするか相談したい。観光に関する設問も項目の追加を検討する。

○委員：

自分も事業者であるためこのような調査依頼が届くが、面倒で答えないことが多い。問6は抜き出して別のアンケートにすればすっきりするのではないか。

○委員：

行政にとって現行計画の振り返りはマストであるが、聞き方も重要である。アンケートではなくヒアリングの方で聞くなど、工夫次第である。

○事務局：

設問の聞き方を整理する。

○委員

アンケートは、多くの設問を盛り込むことで回答率が下がるというジレンマがある。回答しやすい内容で回答率を上げる必要がある。

問13は外国人だけでなく障がい者も含むと良いのではないか。

○事務局

障がい者についての設問も検討する。

○委員

ヒアリングはアンケートの後に行うのか。

枝番になっている設問をヒアリングに回すことで省けるのではないか。

○事務局

外部との連携についてはヒアリングで聞くなど、工夫していきたい。

○委員

枝番を省けばWebで実施しやすくなるのではないか。

⑤ヒアリング調査

○事務局：

《資料5に沿って説明》

○会長：

ただ今の説明内容について、質問を求める。

《質問なし》

⑥消費者アンケート調査

○事務局：

《資料6に沿って説明》

○会長：

ただ今の説明内容について、各委員の意見を求める。

○委員：

設問が枝葉に分かれているので、「〇〇に答えた人は×番に」のような作りにした方がわかりやすいのではないか。

○事務局：

アンケートの様式について検討する。

○委員

問7は一般の消費者は答えにくいのではないか。何を聞きたいのかわかりにくい。

アンケートの発送スケジュールはどのようになっているのか。今日の意見を反映したアンケート案はまたメール等でもらえるのか。

○事務局：

アンケートは修正後に各委員に確認し、庁内で調整したあと、発送する予定である。

問7は行政目線になっているので、イメージしやすい選択肢に変更する。わかりやすくする工夫を検討する。

○委員：

一市民としてアンケートを見ると、細かくて驚いてしまう。選択肢を減らしたり設問を短くしたりして文字数を減らすと答えやすくなるのではないか。

問7は文字が多い。問11の「最寄り品」、「買い回り品」は身近な言葉ではないためわかりづらい。問14の選択肢に「個人事業主」がない。問15は「課題がありましたら教えてください」と書いてはどうか。問16は選択肢に「仕事内容」や「職種」を入れてはどうか。

市内の商店街と言われても、どこが商店街に該当するか、線引きがわからない人もいるのではないか。

○事務局：

いただいた意見をアンケートに反映する。商店街の線引きは一般の消費者にあまり伝わっていないので、地図を載せるなど工夫する。

○委員：

やはりWebでアンケートに回答したい。Webなら写真なども載せやすいのではないか。

問19のPRしたい観光資源について、初めて知るものもあった。このアンケートを通じて商店街などのPRにもなるのではないか。

設問の文章が長いので簡潔にして、選択肢も5～6個に絞ると良いのではないか。

○事務局：

農業振興計画のアンケートもボリュームがあるので、そちらと調整してWebでも回答できるか検討したい。文章も簡潔にしてわかりやすくしていきたい。

○委員：

消費者がどの程度環境意識を持って行動しているか気になるので、それに関する設問があると良い。

○事務局：

西東京市はゼロカーボンシティ宣言をしており、重要なテーマではあるが、設問数も多いため本日の意見を踏まえ調整したい。

○委員：

回答者の在住年数や転入理由を聞くと、何が市の魅力かわかるのではないかと。観光についての設問である問19と問20はわかりやすい方が良い。

○事務局：

農業振興計画のアンケートにも在住年数を聞く項目はなかったように思うため、調整する。

○委員：

問1の選択肢の「複合商業施設」とは何を指すのか。「アスタ・西友」等とするのは難しいのか。店の分類が多すぎて自分の回答がどれに該当するのか判断しにくい。

○事務局

答えやすい表現を検討する。

○委員

アンケートのビジュアルを工夫できないか。文字ばかりでは疲れるので、観光地などの写真を載せると良いのではないかと。

○事務局

写真などの使えるデータはあるため、回答率を上げられるよう工夫する。

4 その他

○事務局：

《アンケート・ヒアリングの実施スケジュールを説明》

《次回委員会は2月を予定》